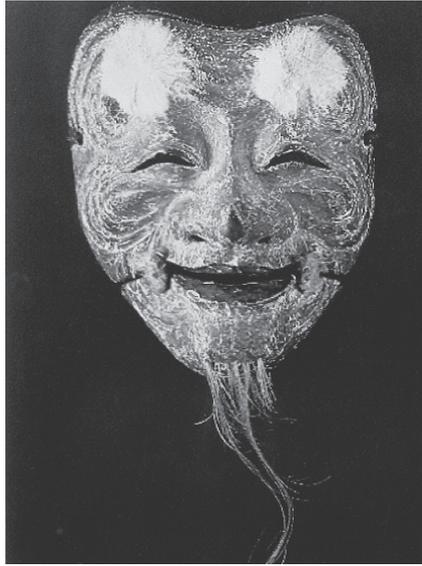


歌の周辺

平成2年10月、東京都中野区にある三井文庫で開催されていた能面展「翁・尉・鬼神」を見に行った。展示されているさまざまな能面を鑑賞しつつ、ふと一つの翁面の前で私は立ち止まった。そして「白綿しろわたのぼうぼう眉の翁おきな面のちのはてのかかるやさしさ」という歌を作った。更にその面が4年前に亡くなられた宮柊二先生のお顔にどこか似ていると思ひ、左の歌を詠んだ。老いた七十代の宮先生のお顔に宿っていた哀しみと優しさを思い出させる翁面であった。(高野公彦)



(朝日新聞社 金剛家能楽秘宝展図録より)

高野公彦うた紀行・49

師の顔に似る顔ありて真向ひぬかなし
み湛へ笑まふ翁面

— 『水行』

【鑑賞】「翁」は能の中でも神聖なもので、その面の造形はもつとも神に近い。能面展に並ぶ面の中に師・宮終二の面差しに似た一つがあった。その笑みの中に生前の師の生の「かなしみ」を見いだす作者。また面は見る者の心を映す鏡でもある。師が亡くなられて間もない頃の作者は、「真向」うことで自身のかなしみをも見つめていたのではないか。

(山下佐保)



ふるさとコレクション——220

平和の門（ピース・アーチ）

このところ、関税をめぐる関係がやや微妙になってきているアメリカとカナダ。両国は、北米大陸を横切る北緯49度線上に定められた長い国境線の南北に隣接しているが、その西端に近い「ピース・アーチ国境検問所」の近辺にある国境線を跨いだ「ピースアーチ国際公園」の中だけは、パスポートやビザがなくとも、両国間の移動が自由な特別地帯。

そして、米英戦争の1814年の講和条約の調印を記念して、1921年に公園内の国境線を跨ぐ位置に建てられた記念碑がこの写真の白いアーチであり、両国間の長い平和の歴史を象徴している。

上部には両国の国旗が掲げられ、中心部には鉄製柵の扉が設置されていて、脇の壁に書かれた祈りや願いの言葉の一つに、「この門が、閉ざされることがありませんように」がある。

これは、「互いに平和関係を保ち続けたい」という意味だと解釈されてきたが、「アメリカがカナダを51番目の州にすれば、門は閉ざされない」という意味にも解釈できる時が来るとは、この言葉を書いた人は想像したことがあっただろうか。

（写真・解説：佐藤 紀子（カナダ））